

船木地区 第3期 中期ビジョン（令和7年4月1日～令和12年3月31日）

地区スローガン
（ありがたい姿）

住民は互いに尊重し、安心安全で住み良い地域社会を築こう

協力：宇部市消防団 船木分団

自主防災会・自治会連合会
環境衛生連合会 船木支部

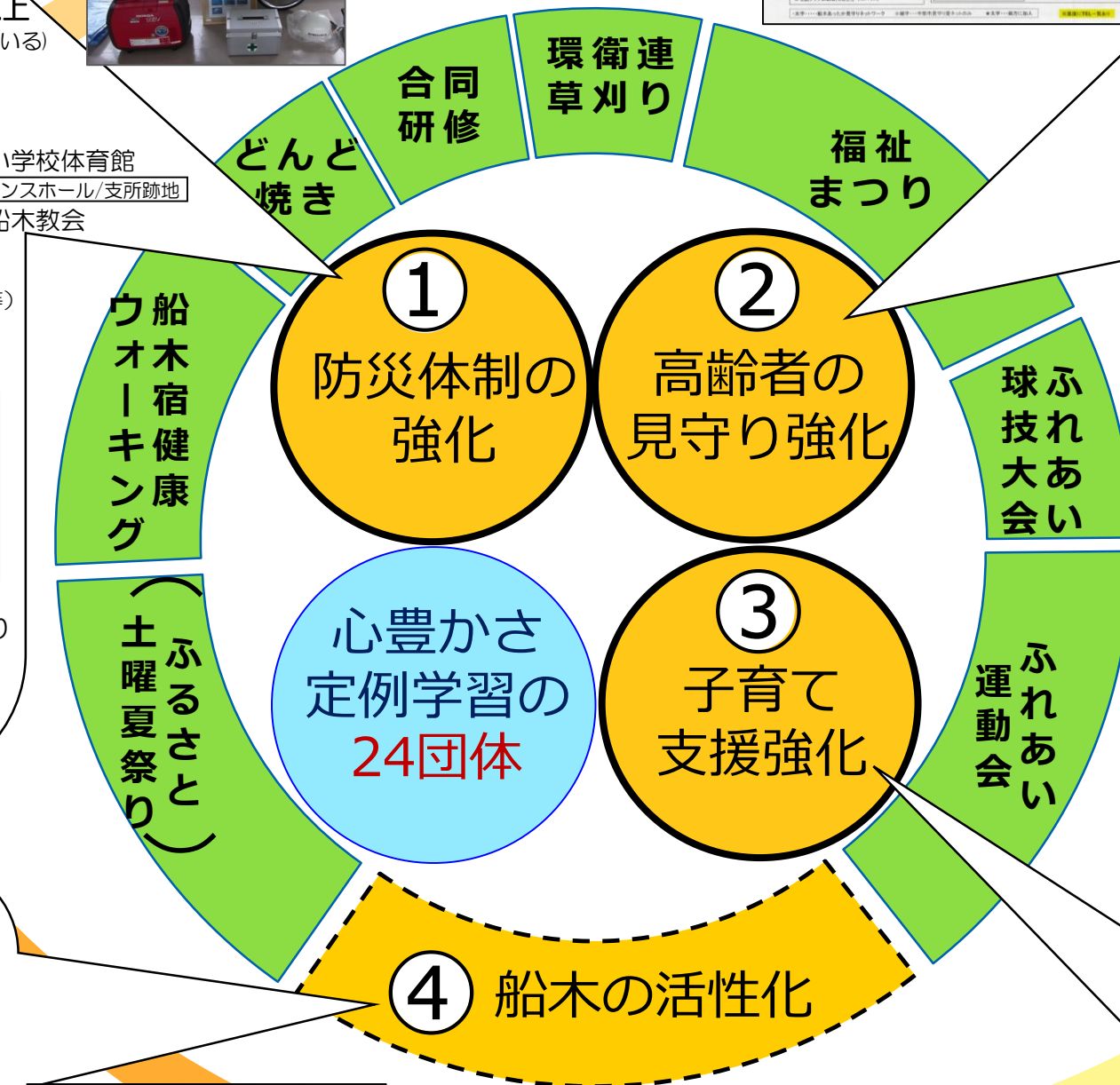
災害時に人的被害をできるだけ少なくする
＝命を守る行動につながる活動

- 緊急連絡網（警報発信時等）：「警報レベル3高齢者避難」以上
 - ・自主防災本部 → 各自治会防災委員：○（ほぼできている）
 - ・各自治会防災委員 → 住民（避難弱者）：×～△（不十分）
- 避難場所の確保（身近な場所で一時避難）
 - ・避難所 船木ふれあいセンター・楠総合センター・船木小学校体育館
 - ・避難場所 北在集会所・西山集会所（候補：楠中体育館・ルネッサンスホール/支所跡地）
 - ・地域避難場所 願生寺、正圓寺、来迎寺、瑞松庵、金光教長門船木教会
- 避難所開設訓練/土嚢作成訓練（裏町、中市、一沖、上田町等）
- 防災備品の整備（避難所用テント・発電機・アルミリアカー・投光器等）
- 防災スピーカーが広域で聞こえ難い（楠中学校設置）
- 懸案/注視項目
 - ・有帆川河川浚渫/内水氾濫/ウェブカメラ設置
 - ・山根川上流域水害対策/浚渫
 - ・一沖市道側溝・宗方井堰管理/沖田水路管理者
 - ・住吉神社裏地区 豪雨時対応
 - ・エクセリオ太陽光発電所調整池機能（容量変更）
 - ・災害ゴミ置場（市有地候補地設定）
- 防災研修・講演会・課題検討
 - ・アドバイザー/防災士/次世代リーダーの養成・船木防災会だより
 - ・組織力弱体自治会対応（高齢化/世帯数減少）（毎月）
- 「個別避難計画」の作成
 - ・民生委員・自治会長・福祉委員と連携＋ケアマネジャー・包括（高齢者の見守り強化と同テーマ）

まちづくりサークル・活性化懇話会
船木の木

賑わいと交流は地域活動の原点である
現役世代との連携強化

- まちづくりサークル（地域文化の伝承）
 - ・史跡ガイドのデジタル化
 - ・地域発展貢献者を紙芝居で伝承する
 - ・ふるさと文化遺産勉強会
- 活性化懇話会（一般公募）
 - ・史跡：千林尼石畳の清掃・整備の継続
 - ・「船木そば」「石畳ウォーキング」等新規テーマも含め検討
- 船木の木（船木地区まちづくりに取り組む有志の団体）
 - ・船木オータムフェスタの開催（岡崎八幡宮秋季大祭/船木旧街道）
 - ・さくらマルシェ（瑞松庵）/「まちすじで語ろう会」の開催
 - ・くすのき商工会との連携・現役世代との連携
 - ・支所跡地の活用提案（総知結集→R7～8年要望書）山大：小林准教授「青空市場・若者交流・学びのスペース・防災」※R7年解体設計
 - ・うべKITAまつり/地域振興策（北部地域振興課）への取組み



地域支え合い会議

コミュニティ推進協議会、自治連、民生委員、市社協、地区社協、老人クラブ、福祉委員、北部西高齢者総合相談センター、ふれあいセンター、健康増進課、地域支援員

長く発見されない孤独死ゼロ、認知症行方不明者ゼロ
認知症になっても安心して暮らせる地域づくり

《社協との連携》

- 各自治会での「ゆるやかな見守り体制」構築
＝コロナ後再度強化＝

- 各事業者様の協力による「船木あったか見守りネットワーク（66社）」の活動促進

《包括との連携》

- チームオレンジ活動：北部西包括支援センター推進
認知症になっても安心して暮らせる地域づくり
・プラチナサポーター交流会・食事会・小学生との芋ほり/稲作収穫体験
・認知症見守りネットワーク（TEL63名、slack40名）の実践



《民生委員との連携》

- Q救ちゃん・安心コールサービス/安否確認センサー・ヘルプカード・安心シール・見守り愛ネット
- 「個別避難計画」の作成（防災体制の強化と同テーマ）
自治連・自主防災・福祉委員連携＋ケアマネジャー・包括



《健康づくりプランの実践》

- ・特定検診・がん検診・後期高齢者健康診査受診率向上
 - ・ふれあい運動会/球技大会・船木宿健康ウォーキング参加者拡大
- 《行政手続きの改善》
- ・高齢者対象手続きが楠市民センターで代行可能となるよう要望

《継続テーマ》

- 有償ボランティア立ち上げ目指す
・草刈・ゴミ選別/ゴミ出し・病院・買い物/交通確保
- 地域内交通（デマンドバス/コミュニティタクシー/ライドシェア）の検討

子育て支援プロジェクト

コミュニティ推進協議会、自治連、ふれあい運動推進委員会、子ども会、PTA、子ども委員会、ふれあいセンター、地域支援員、学校運営協議会

子育て世帯を支援する「子育てのまち船木」を目指す

- 子育て支援 子ども会加入率(49%)維持向上
 - ・「子ども会」「子ども委員会(学び舎ふなき)」「PTA」「学校」から地域への要望に対応する/子育て世代・現役世代との連携強化
 - ・「どんど焼き」「船木宿健康ウォーキング」「ふれあい運動会/球技大会」「子ども夏まつり」等地域活動に積極的に参加する
 - ・通学路の安全・街頭補導の実施・委員70歳上限撤廃の要求(ふれあい)
- 地域学校協働活動
 - ・地域発テーマ提案「船木大橋工事学習会」「高齢者見守りネットワーク」「収穫体験/チームオレンジ活動」「歴史資源を守る」を推進する
 - ・KYT(危険予知トレーニング)を活用した通学路の安全検証
- 子育て・現役世代との連携強化（0・18保護者会）

Ⅰ 防災体制の強化 <自主防災・自治会連合会／環境衛生連合会船木支部等>

□は課題

(1) 防災マップ 船木自主防災会で洪水・土砂災害ハザードマップ発行(西在、北在、町1・2)

想定最大規模(498mm/24H)「有帆川洪水ハザードマップ(R3年宇部市)」:船木市街地は0.5～10m浸水予想

(2) 避難場所の確保

2020年熊本県球磨川水害時の雨量

① 避難場所 : 船木ふれあいセンター(自主避難場所)・船木小学校体育館・楠総合センター

② 避難場所 : 西山集会所・北在集会所

③ 地域避難場所: 願生寺・正圓寺・来迎寺・瑞松庵・金光教長門船木教会

非常時1000L給水コンテナ・設置は職員駐車場
組立式コンテナは総合センター倉庫で保管

避難場所の更なる候補 : 楠中学校体育館・ルネッサンスホール(楠総合センター)・旧総合支所跡地等

(3) 防災資機材・備品の充実

① 備品倉庫(4か所) : 船木小グラウンド・北在集会所・西山集会所・旧支所倉庫

② 主要備品 : 発電機4・投光スタンド4・アルミリヤカー4・コードリール・ヘルメット・救急箱等

③ 避難所用テント : 個人22張・ファミリー10張 (エクセリオジャパンからの寄贈): ふれあいセンター/船木小体育館

ふれあいセンター電源は、商用電力失効時にはプロパン発電に切り替えできる施設である。
(ふれあいセンターで保管の地域福祉課手配の簡易プロパン発電機は必要時屋外で活用)

(4) 緊急連絡網構築(警報発信/避難所情報、被災時の安否情報収集、コミュニケーションライン等から必要)

① 自主防災会 ⇒ 各自治会防災委員(夜間、早朝除く)

② 各自治会 ⇒ 各家庭・避難弱者 (一部自治会で運用のみ)

緊急連絡網: 多くの自治会未展開 外国人技能実習生含む(LINE、slack等活用): 外国人雇用企業には洪水ハザードマップ配布
避難弱者対応の「個別避難計画」宇部市地域福祉課主幹がR5年から推進するも進捗度が低い

(5) 火災関連 ①消防署訪問指導 ②住宅用火災警報器設置(60個以上軒旋) ③支所サイレンの更新中止→防災スピーカー活用

(6) 防災スピーカー(楠中前設置) 広域で聞き難い(音量UP対策プラス地域災害等で活用可能に改良要望)

代案で防災メール・固定電話配信・防災ラジオ対応の啓発

(7) 有帆川への水位ウェブカメラ設置 (R7年宇部市土木河川課推進)

(8) 楠中学校へ「防災部(仮称)」創設 (R4年市政懇談会で要望)

R6年市道暗渠～側溝(道路整備課)
国道下暗渠(山口河川国道事務所)R4年浚渫(道路整備課)後
R5,6年は冠水なし

(9) 懸案注視項目 ①有帆川河川浚渫状況/内水氾濫 ②山根川上流域水害対策 ③山根川河川浚渫状況 ④一沖市道側溝

⑤エクセリオJAPAN太陽光発電所調整池機能(容量) ⑥住吉神社裏地区 ⑦宗方井堰管理(沖田水路管理者未決定)

(10) 研修・養成・講習 ①避難場所開設訓練 ②自治会土嚢作成訓練(裏町、中市、一沖、上田町は設置済)

③防災各種研修 ④防災講話 ⑤救急救命講習(多数参加) ⑤自主防災アドバイザー1名・防災士3名

(11) 災害ごみ置き場 船木地区に市有地で適正な場所の検討が必要/自治会の置き場検討

Ⅱ 高齢者の見守り強化(健康づくりプラン含む) <地域支え合い会議>

(1) 長く発見されない孤独死ゼロ

①目標達成度 H26・H27で5件 その後7年間無し R5年1件発生 R6年ゼロ見通し

全て独居高齢者で発生 R5年1件:Q救ちゃん設置無し 新聞無し 親族に宅配不着連絡 親族発見

②各自治会でのゆるやかな見守り体制【楠地区社協推進】

見守り対象者のいる自治会での構築率68%(R元年調査)であったがコロナ禍
(脱対面)で低下が懸念される

「各自治会でのゆるやかな見守り体制構築」は、福祉交流会で活動強化を要請する

③各事業者様の協力による「船木あったか見守りネットワーク(66社)」

H27年10数社でスタートしR3年各企業、お寺、R4年楠中学校生徒会、R6年
船木小学校5・6年生が加入しオール船木体制となった

更に「船木あったか見守り情報交換会」でスキルUP

「個別避難計画」は防災・自治連・民生委員+ケアマネジャー・包括と連携して推進する

④見守りツール促進キャンペーン(当事者、ご家族のテーマ)

R3年 安心コールサービス10戸安否確認センサー1戸⇒R6年 安心...21戸 安否...13戸

安心コールサービス・安否確認センサー設置率は宇部市平均を上回ったが更に拡大が必要

(2) 長く発見されない認知症行方不明者ゼロ

①目標達成度 R4・5・6年ゼロ達成(船木駐在所)

R4年複数の警察案件(2名)があったが24H以内に発見対応された

②認知症見守りネットワークの構築 R5年テーマ(県助成金活用)

電話協力: 63名、slackアプリ登録: 40名(内宇部市見守り愛ネット12名)で立上げ

slackは包括掲示板/うべふなき掲示板で見守り情報、防災情報、イベント情報等で活用中であるが更に利用拡大化を啓発する

③チームオレンジ活動【北部西地域包括支援センター推進】

2025年高齢者の5人に1人が認知症といわれ、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりを推進中である。

推進に協力するプラチナサポーターは北部3地区で29名(船木19名)交流会・キャンプ場での食事会・小学校児童との芋ほり
稲作の収穫体験・餅つき大会・イベント参加・認知症SOS模擬訓練等で実践中。

(3) 健康づくりプラン

①がん検診・健診受診率

	R5	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
受診率(市内順位)	13.9(9)	27.9(4)	23.6(4)	12.5(16)	14.1(8)	
市平均受診率	13.1	23.0	19.0	13.2	13.5	

	R4	特定検診	後期高齢者健診
受診率		35.8	34.1
市平均受診率		34.4	32.8

②ふれあい運動会・ふれあい球技大会・船木宿健康ウォーキング参加数

ふれあい運動会	ふれあい球技大会	船木宿健康ウォーキング
約300人	約100人	104名

船木地区
第3期 中期ビジョン(地域計画)
(令和7年4月1日～令和12年3月31日)

令和7年(2025年) 4月1日

船木地区コミュニティ推進協議会

1 経緯

■船木地区コミュニティ推進協議会は、更なる高齢化・人口減少に備え「安心・安全で住み良い地域社会を築く」ために、H27年(2015年)に重点課題を中期ビジョンのテーマに挙げスタートとし、進捗状況は隔月のコミ理事会で協議・共有してきました。

2045年には人口が半減、高齢化率は50%以上と推計されています。ここ10年間(2014年 vs 2024年)で人口は-561人、高齢化率は+5.4ポイントになりました。
船木小学校の児童数も216人→116人に減少しました。尚、直近(R6 12/末)人口は3,243人、高齢化率は37.4%です。

■宇部市まち・ひと・しごと創生総合戦略に基き、H28年～各地区も「地域計画」の策定が推進され、船木地区も中学生以上1,782名(回収率52%)のアンケート結果を反映し「第1期中期ビジョン」を策定し推進しました。R2年には5年間を総括し「第2期中期ビジョン」に課題を反映し推進しました。期中に発生したコロナ対応(発熱者管理・ソーシャルディスタンス・脱対面等)、また認知症の2025年問題(高齢者1/5人)も追加して推進しました。

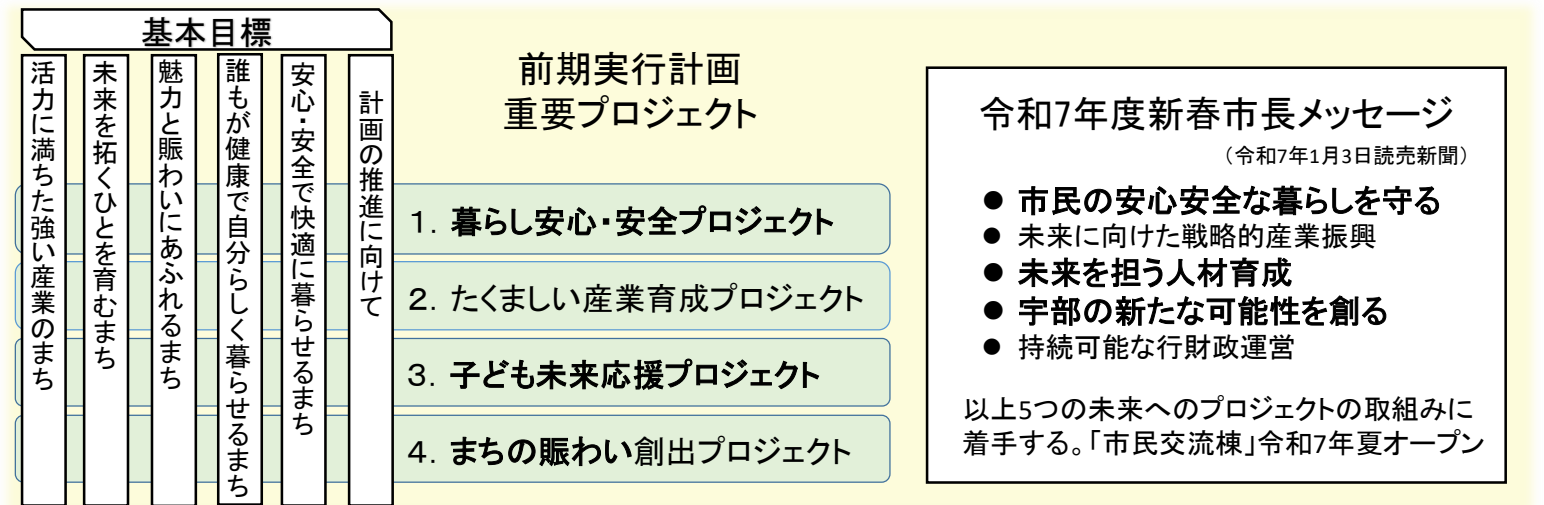
■今回(R7年)過去10年間の実績と課題を「第3期中期ビジョン」に反映し推進いたします。各課題は原因を解決し体制・仕組みで再発防止を図り、持続可能な地域活動を目指します。

- 防災体制の強化 … 有帆川隣接による水害・南海トラフ地震: 人災を最小限に食い止める
- 高齢者の見守り強化… 長く発見されない「孤独死ゼロ・認知症行方不明者ゼロ」を目指す
- 子育て支援強化 … 子育て世帯を地域で出来るだけ支援し「子育てのまち船木」を目指す
- 船木の活性化 … 賑わいと交流は地域活動の原点である/現役世代との連携

2 上位施策(宇部市との位置づけ)

「第5次宇部市総合計画」基本構想・前期実行計画策定: R4年広報うべ5月号

誰かが創る宇部じゃなく、みんなで創る宇部に!! ひとが輝き交流ひろがるわたしたちの宇部～共存同栄～



自立したコミュニティの構築【第2期宇部市まち・ひと・しごと創生統合戦略(R2年3月)から】
地域が抱える課題を自ら解決する自主的・自律的な地域コミュニティを構築し、誰も取り残されることのない地域づくりを実現する。

- 地域ぐるみで子どもを育てる体制の基盤づくり(学校との連携強化・子育て世帯の負担軽減)
- 「災害に強いまちづくり」「交通安全・防犯による安心安全なまちづくり」の支援
- 安心して過ごせるよう「地域支え合い包括ケアシステム」の強化
- 「地域計画」「健康づくり計画」の策定支援と地域住民への発信支援
- 地域の資源を活かした地域の活性化と魅力向上を支援



第1・2期 中期ビジョンの「10年間実績と課題」は裏面を参照

Ⅲ. 子育て支援強化 <子育て支援プロジェクト>

子ども会・子ども委員会「学び舎ふなき」・PTAからの要望対応/学校との連携・地域学校協働活動

Ⅳ. 船木の活性化 <まちづくりサークル・活性化懇話会(公募)・「船木の木」まちすじ有志の会>

Ⅲ、Ⅳは安心安全の重要課題がなく ⇒3. 第3期中期ビジョン参照